

# 佐賀城本丸ボランティア研修旅行

# 先憂後楽

さる6月28日(月)、本丸ボランティア51名で下関周辺を研修旅行しました。あいにく強い雨の中の研修旅行でしたが、お世話された安富さんが見学コースや食事処などを事前に下見されており、お陰様で楽しい一日でした。

「(1)一番の希望は下関方面」  
 今回の研修旅行は、本丸歴史館から貸し切りバス代及び高速道路代の助成があり、実現しました。ボランティア全員が参加できるよう休館日の6月28日に実施することとし、研修先については世話係を通してアンケート調査を行いました。一番希望の多かった

## ～下関市周辺（壇ノ浦砲台・功山寺など）を見学～

「(2)盛り上がったバス車内での事前研修」  
 参加者は51名多く、大型バスの補助席を使用してギリギリの座席でした。佐賀城本丸を出発して高速道に乗ると早速、太田前会長の手作り資料「幕末の長州藩(全8頁)」をもとに、約50分にわたって説明がありました。室町・戦国時代を支配した大内氏から幕末・維新期にかけての長州藩の動向が簡潔明瞭にまとめられていました。

「(3)赤間神宮などを見学して食事処「からと屋」へ」  
 11時頃下関・唐戸市場着。一八五五年源平壇ノ浦合戦で入水した安徳天皇を祀った赤間神宮を参拝。次いで日清講和記念館(春帆楼隣)を見学して、からと屋にて風食を取る。

「(4)研修の目玉である壇ノ浦砲台と国宝「功山寺」周辺



説明する太田前会長  
壇ノ浦砲台司が見える五門(大砲)は、大砲(樹脂)

「(5)熱意にあふれたボランティアガイド男女2名(2時間、一人3千円)強い雨でトラックなどがびしょ濡れの中、熱心に案内して頂き、頭の下がる思いがしました。下関観光ボランティアは昭和60年にガイド7名でスタートし現在は約35名。毎月1回、最終月曜日に三時間ほど、商工会議所

の下関方面で、今回の研修実施となりました。

「(6)感想など」  
 ①ガイドの説明を受け、話し方や時間配分などある程度、お客様の反応に注意することの必要性を再認識した。ただし、本丸の建物内と今回の外回りとの案内の違いはあるが、本丸ボランティアは負けてはいないと、実感しました。

②今回は雨の一日だったので、次回は、梅雨を除いた時期を検討して参りたい。



壇ノ浦砲台

製)が置かれ、真ん中の大砲は百玉玉を入れると、五秒間隔で三発、砲音が響き、さすが観光地にふさわしい演出である。説明板には、艦隊が下関襲撃した一八六四(元治元)年当時、青銅製カノン砲14門(36ポンド砲他)が設置されていたとある。

### 開館6周年記念

#### おめでとう

8月1日は、佐賀城本丸歴史館開館6周年目になります。今年は日曜日であり、日曜班の当番となりました。

入館者100万人を達成した翌年ではありますが、更なる飛躍のスタートの思いを込めて、日曜班小寺氏の厚意による「鯨」の新しい作品を絵がきとして、来館者に贈呈することにしました。

各曜日の皆様には、「ありがとう」「おかげさまで」等々、6周年の前に、ボランティアの一言を添えて戴きました。また、木曜班からは、「先憂後楽」の葉の提供もありましたので、贈呈文と共に、透明の袋に入れて、当日の来館者、先着200名にお贈りさせていただきました。栄の国まつり、佐賀城本丸歴史館の作り方特別講演会などの参加と重なり、多忙な一日ではありましたが、来館者増加の一助にでもなればと思っています。(火・日曜班 服巻政司)

「(6)感想など」  
 ①ガイドの説明を受け、話し方や時間配分などある程度、お客様の反応に注意することの必要性を再認識した。ただし、本丸の建物内と今回の外回りとの案内の違いはあるが、本丸ボランティアは負けてはいないと、実感しました。

②今回は雨の一日だったので、次回は、梅雨を除いた時期を検討して参りたい。



天守台の石積みの間に、蔓延る木根の成長による、崩壊を防ぐために、雑草に覆われた見つけられた

「(6)感想など」  
 ①ガイドの説明を受け、話し方や時間配分などある程度、お客様の反応に注意することの必要性を再認識した。ただし、本丸の建物内と今回の外回りとの案内の違いはあるが、本丸ボランティアは負けてはいないと、実感しました。

②今回は雨の一日だったので、次回は、梅雨を除いた時期を検討して参りたい。

「(6)感想など」  
 ①ガイドの説明を受け、話し方や時間配分などある程度、お客様の反応に注意することの必要性を再認識した。ただし、本丸の建物内と今回の外回りとの案内の違いはあるが、本丸ボランティアは負けてはいないと、実感しました。

②今回は雨の一日だったので、次回は、梅雨を除いた時期を検討して参りたい。

### 親睦グランドゴルフ交流会に参加して

梅雨の最中の7月2日(金)、一日雨天順延して、本丸歴史館南庭で開催されました。

企画、段取り、運営してくださった世話役の方々に、お礼を申し上げます。シバヤクローバー、雑草の繁茂する本丸広場の中に、8ホールを設定して、2ラウンドのプレーを行いました。老若男女、未経験者、経験者を上手に組み合わせたのプレーになりました。

コースの設定は、ゴルフの聖地、セント・アンドリュースに匹敵する、超難度の高いコースだったと思われる。

和気藹々の中で、笑いあり、臨機応変の集中ありで、親睦の輪が広がっておりました。その中でも両副館長(徳淵氏、古川氏)の力強いショットには度肝を抜かれました。将来性、センスとも抜群でした。昼食時の雑談の中で、第3回大会の要望も出ました。

交流会には34名(ボランティア30名、館4名)の参加があり、個人成績は1位大串敏郎(月曜班)、2位原口国昭(火・木曜班)3位山口隆(火曜班)、の各氏でした。(月曜班 大串敏郎)



「栄の国まつり」  
 佐賀城を背負っての大奮闘！今年は40名を超えて、踊りもバッチリ決めました。2時間があったという間に過ぎて、踊り足りない位に楽しい一時でした。思いがけず男性の皆さんが熱心に練習され、きこない必死の動作がかわいらしく、男性群を見直しました。徳淵副館長も上手に踊られ、受付の若手のきれいだころの参加もあり、懐かしい松田、近藤両氏も駆け付けて下さり、また家族総出の参加もありと盛り上がりました。参加者もさることながら、ご寄付も蒲原館長を始め14名の方より頂きました。また、出陣式のお米、漬物のり、梅干し、ヒールなどの差し入れもありです。

大うちわの修理もはっちりして頂き側面からの応援をいただきたい、踊り子は更に元氣を出して踊ることができました。この楽しさ！充実感、踊らんとわからん。来年はもっとたくさんの方々とこの興奮と感動を共有したいと思えます。佐賀城本丸ここにありです。(月・水曜班 南里美智代)

編集後記  
 今回は、研修旅行を中心に取りまとめました。寄稿された方々、心からお礼申し上げます。(田中・戸田)